

科目区分	専門基礎分野	科目名	形態機能学 I (脳・神経、運動器)	対象学生	第 1 学年
		単位数 (時間数)	1 単位 (30 時間)	学 期	第 1 学期
担当講師	院外講師、院内講師				
科目目標	1. 脳・神経の構造と機能を理解する。 2. 運動器の構造と機能を理解する。				
授業計画	第 1～7 回 神経系の構造と機能 (講義) ・神経細胞と情報伝達、神経膠細胞、体性神経、自律神経他 脊髄と脳 ・脊髄の構造と機能 (脊髄反射) ・脳の構造と機能 (脳幹、小脳、間脳 (視床・視床下部)、 大脳、脳室と髄膜、脳脊髄液の循環 脊髄神経と脳神経 ・脊髄神経の構造と機能 (脊髄神経と神経叢) ・脳神経の構造と機能 (脳神経のおもな支配域) 脳の高次機能 (覚醒と睡眠) ・脳波と睡眠 (体内時計) 運動機能と下行伝導路 感覚機能と上行伝導路 (体性感覚、深部感覚)		第 8～14 回 骨の機能 (講義) ・骨の形態と構造 ・骨の組織と組成、関節の機能 ・関節の一般構造 ・関節の形状と可動性、骨格筋の構造と作用 ・体幹の骨格と筋 (脊柱、胸郭、胸部・腹部の筋、殿部の筋・骨盤底筋 他) ・上肢の骨格と筋 ・下肢の骨格と筋 ・頭頸部の骨格と筋 ・筋の収縮と特性 ・全身の骨格の形態と構造 (演習) 第 15 回 終了試験		
評価方法	筆記試験				
テキスト	系統看護学講座 解剖生理学 医学書院 系統看護学講座 準拠 解剖生理学ワークブック 医学書院				
講師からのメッセージ	模型や視聴覚教材を使用して各称や働きを確認する。 神経細胞と神経組織、中枢神経系の構造と機能、末梢神経系の構造と働き、骨格の構造と機能、関節の構造と種類、骨格筋の構造と機能など、国家試験出題基準を確認し学習すること。				